

第16回 日能研

文学コンクール

奨励賞

【論説文】 自粛生活が教えてくれたこと

学習院女子中等科・三年

木下 愛珠さん

作品に対する思い・感想

今年には新型コロナウイルス感染症流行の影響で、家庭生活や学校行事などの様々な様式・形式が変わり、その変化に戸惑いながら過ごす一年となりました。しかし、通常とは異なる時間の経過の中で学べたことも多いように感じます。

このような環境の中で、貴重な賞を頂けたことを大変嬉しく思います。選考員の皆様、ご指南下さった先生方、両親、本当にありがとうございました。

「自粛生活が教えてくれたこと」

木下愛珠

私の理想の時間の過ごし方は、時間と心の余裕を持つて過ごすことだ。時間は、学生として過ごせる時間や休みの日を自由に過ごせる時間、人生の時間など、どの時間も限られている。限られているから大切にしなければならぬが、これまで私の普段の毎日は課題やテスト勉強、通塾や習い事などやらなくてはいけないことをして、スマホを見たり友達と話したりしていたら一日が終わっていた。充実しているというよりは時間に流されてあっという間に過ぎるような感じだった。

しかし、ちょうど中学二年生から三年生に進級するとき、新型コロナウイルス感染症流行の影響により自粛要請が出たことよって、今まで足りなかった時間が余るようになった。最初はただ自由な時間が増えたことが嬉しくて一日をだらだらして無駄に過ごしていたけれど、そのうち時間を無駄に過ごすことがもつたいなく感じるようになっていった。そこで、学校や塾の課題を進めてみたりもしたが、時間が余ったりして、それがとても不思議な感じだった。普通に過ごしている毎日では絶対に生まれぬほどの、することがない時間に、お菓子作りをしたり、大掃除をしたり友達と長電話したりして過ごしていく中で、友達との会話がいつもと違うことに気がついた。今まで友達と電話をするときは、その日学校であった出来事や愚痴など過去について話すことが多かった。しかし、自粛中はどんな大学生や社会人になりたいかだったり、どんな仕事をしたかだったり、どんな人と付き合いたいかだったり、どちらかというところと将来について話すことが多くなった。私は今まで将来についてあまり考えずに日々を過ごしていたので、将来の話が新鮮で、大学のことや、今習得しておくことと将来役立つことや便利なことなどを調べるようになった。調べていくうちに色々な情報や知識を知ることができて、友達と電話で話したアバウトな構想よりもこうなりたいとかどんなことがしたいかなど、具体的な考えを持つことができた。この考えがモチベーションになることで、今まで機械的に嫌々やっていたことが多かった勉強や通塾も将来役に立てることができると思えるようになった。今はまだ自分がやりたくてやるというようにはなれていないけれど、学校や塾の勉強をこなすことに達成感を持つるようになった。

そもそも、なぜ将来の話をしたり考えたりするようになったのかと考えると、学校がなくて話題がないということもあるが、時間に余裕ができて心にも余裕ができたからだと思う。今は自粛も終わって徐々に元の生活に戻ってきている。自粛中、時間が余る生活を送っていたので元の忙しい日常になかなか慣れずバタバタしている。このような中、どうすればこれからも時間や心に余裕を持てるのかと考えたとき、必要なことは、「やらなくてはいけないこと」と「やらなくてもいいこと」の取捨選択だと思った。日常の中で自分にとって「やらなくてもいいこと」を見つけることは確かに難しいが、例えば人の悪いところ

を見ている時間はいららないと思う。私はこれまで他人の愚痴をあまり考えずに言ってきた。しかし、愚痴を言うことは自分の時間も相手の時間も使ってしまうし、心が黒くぐちゃぐちゃしたもので埋まってしまつて余裕がなくなり、とてももつたいたいと思う。ほかにも、過去の嫌な思いを出すこともあまりよくないと思う。思い出すことで「これからはこのようにならないようにどうすればいいか」など良い方向にもつて行ける人にとつては自分の成長につながられるから必要であることもある。しかし、大半の人はネガティブな方向へもつていってしまうのではないだろうか。愚痴と同じで時間と心は無駄遣いしていると思う。

私たちの毎日はとても忙しくて、学生なら課題や部活動や友人とのつきあい、社会人なら仕事や上司同僚とのつきあいや食事会など、自分で決めるといふよりも決められたことをこなす時間を送っている人が多いと思う。それなのに、決められたこと以外にも進路、昇進、結婚、家族など未来のことも考えながら行動していかないといけない。することが多すぎて未来について考えることを疎かにしてしまつていて人が多いのではないだろうか。私は、決められたことをこなすことにいっぱいになって自分の未来を疎かにしたくない。もちろん決められたことをするということも未来につながると思う。だが、同じように決められたことをするのも、取捨選択していない人が決められたから仕方なくやるのと、取捨選択した人が決められたことをするのは、その先には違う道が広がっていると思う。

このように、「やらなくてはいけないこと」と「やらなくてもいいこと」の取捨選択がきちんと出来れば、忙しい中でもある程度時間や心に余裕を持って、自分の将来したいことやそのためにできること、自分が大切にしたいことを考える時間を作ることができると思う。自分で選んだ「やらなければならないこと」をする時間は、何も考えずに毎日の時間を過ごすよりもずっと有意義で満足感のある時間だ。私は今まで時間にも心にも余裕がなく毎日あつという間に時間が過ぎていたけれど、自粛期間を通して、時間に流されるのではなく自分のことは自分で決めることによつて自分自身の力で時間や人生を作っていくか、ないといけないということに気がつくことができた。「自分のことは自分で決める」というフレーズはよく聞いていたけれど、今までそんなに気に留めることがなかった。でもこのフレーズは自立だけではなく時間と心の余裕も作ってくれるのだと思う。これから高校生になればもつと決められたやるべきことが増えて忙しくなるだろう。忙しい時こそ自分で取捨選択をして時間と心の余裕を持つことで、自分の時間や人生を作っていきたいと思う。